



## 2024年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年8月8日

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所 東  
コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 寺田 健志  
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 今村 徹 TEL 06-6110-1560  
四半期報告書提出予定日 2023年8月9日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年3月期第1四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年6月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第1四半期	23,193	△9.9	2,807	△45.5	3,504	△40.8	2,404	△42.1
2023年3月期第1四半期	25,738	20.1	5,149	68.4	5,921	70.9	4,149	57.5

(注) 包括利益 2024年3月期第1四半期 4,544百万円 (0.2%) 2023年3月期第1四半期 4,535百万円 (177.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第1四半期	94.50	—
2023年3月期第1四半期	178.14	159.87

(注) 2024年3月期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第1四半期	139,229	102,945	73.9
2023年3月期	138,029	99,543	72.1

(参考) 自己資本 2024年3月期第1四半期 102,936百万円 2023年3月期 99,535百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	45.00	—	45.00	90.00
2024年3月期	—	—	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	45.00	—	45.00	90.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	51,000	△1.8	3,600	△63.0	4,100	△62.2	2,800	△62.7	110.06
通期	105,000	0.8	10,000	△35.7	11,100	△35.3	7,500	△29.1	294.81

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動：無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2024年3月期1Q	26,732,017株	2023年3月期	26,732,017株
② 期末自己株式数	2024年3月期1Q	1,291,570株	2023年3月期	1,291,509株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2024年3月期1Q	25,440,473株	2023年3月期1Q	23,293,934株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和により社会経済活動の正常化が進み、持ち直しの動きが続きましたが、原燃料価格の高騰や物価上昇に加え、ウクライナ情勢の長期化、世界的な金融引締めが続く中で海外景気の下振れが国内景気を下押しするリスク等の影響もあり、依然として厳しい状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループは、2023年4月4日に発生した弊社水島工場製造設備の不具合の影響により、「既存事業の継続的基盤強化」、「新製品創出力の強化」、「サステナビリティ経営の推進」の3つの基本方針からなる新中期経営計画の公表を延期しておりますが、当社が取り組むべき基本方針は変更せず、当該設備の早期復旧に全力を挙げながら、その基本方針に沿った具体的な施策を着実に実行してまいりました。

「既存事業の継続的基盤強化」においては、安定したキャッシュの創出と成長分野への積極的な投資により事業基盤の拡充を図ってまいります。基礎化学品事業では、顧客への安定供給を確保するため製造設備不具合の復旧活動に全社一丸となって取り組みました。機能化学品事業では、主要製品の需要が低下するなかで、新規開拓によりアクリルゴムの販売数量を着実に伸ばすことができました。ヘルスケア事業では、糖尿病治療薬や急速に拡大する肥満治療薬向けの医薬品精製材料の需要拡大に対応するため、松山工場での新製造設備建設の決定に続き、尼崎工場でも第2期増強として製造設備の新設を決定いたしました。

「新製品創出力の強化」では、NEDOのグリーンイノベーション基金事業として採択された全固体電池用超高イオン伝導性ポリマー等の次世代蓄電池用材料を中心に、次のグローバルニッチトップ製品の早期上市を目指した開発を進めました。

「サステナビリティ経営の推進」では、コーポレートガバナンス・コードへの適切な対応として、TCFD対応・GHG排出量の算定等に取り組むとともに、当社経営ビジョンに掲げる「社員とともに成長する企業」を目指して昨年度の管理職人事制度の改定に続き、本年4月より一般社員の人事制度も改定しました。今後は新しい人事制度の下で、業務改革活動のさらなる浸透、従業員エンゲージメントの向上、次世代を担う人材の育成に取り組んでまいります。

水島工場の製造設備不具合の影響（売上高17億円、営業利益21億円）もあり、当第1四半期連結累計期間の売上高は、231億9千3百万円と前年同期比9.9%の減少となりました。利益面におきましても、営業利益は28億7百万円と前年同期比45.5%の減少、経常利益は35億4百万円と前年同期比40.8%の減少、親会社株主に帰属する四半期純利益は24億4百万円と前年同期比42.1%の減少となりました。

なお、ヘルスケア事業が当社第3の収益の柱として順調に成長してきたこともあり、当第1四半期連結累計期間より、報告セグメント区分を、「基礎化学品」、「機能化学品」、「ヘルスケア」、「商社部門ほか」の4部門に変更しております。これに伴い、以下の前年同期比較においては、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み換えた数値で比較しております。

セグメント別の概況は以下のとおりです。

#### <基礎化学品>

クロール・アルカリは、水島工場の製造設備不具合の影響により一部製品において販売数量が減少したものの、原燃料価格高騰に伴う製品価格の上昇もあり、売上高は増加しました。

エピクロロヒドリンは、製造設備不具合の影響による販売調整に加え、エポキシ樹脂の需要が国内外で減少した影響により、売上高は減少しました。

以上の結果、基礎化学品の売上高は90億4千5百万円と前年同期比11.8%の減少となりました。

#### <機能化学品>

合成ゴム関連では、エピクロロヒドリンゴムはOA用途向けの需要が落ち込んだため、売上高は減少しました。アクリルゴムは国内外で新規採用が進んだため、アジア向けを中心に売上高は増加しました。

ダップ樹脂は、欧州および東アジアでの需要低迷に加え、米国で在庫調整が長期化している影響もあり、売上高は減少しました。

アリルエーテル類では、欧米および中国で塗料用途を中心にシランカップリング剤向けの需要が低下したため、売上高は減少しました。

以上の結果、機能化学品の売上高は64億8千3百万円と前年同期比11.7%の減少となりました。

<ヘルスケア>

医薬品精製材料は、欧米並びにアジア向けの糖尿病治療薬用途等の需要が順調に拡大し、売上高は増加しました。医薬品原薬・中間体は、核酸医薬原薬や抗潰瘍薬中間体の販売は拡大したものの、前年度は売上が第1四半期に集中した影響により、売上高は減少しました。

以上の結果、ヘルスケアの売上高は22億8百万円と前年同期比10.1%の減少となりましたが、年間では前年度を上回る見通しです。

<商社部門ほか>

生活関連商品は販売が堅調に推移したため売上高は増加しましたが、ガラス繊維等を中心に電子材料および自動車向け商材が低調に推移したため売上高は減少しました。

以上の結果、商社部門ほかの売上高は54億5千4百万円と前年同期比4.0%の減少となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、0.9%減少し887億9千7百万円となりました。これは、主として有価証券が50億円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、4.2%増加し504億3千2百万円となりました。これは、主として投資有価証券が26億3千4百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、0.9%増加し1,392億2千9百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、9.6%減少し292億9百万円となりました。これは、主として未払法人税等が27億5千8百万円、賞与引当金が4億6千6百万円それぞれ減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、14.6%増加し70億7千4百万円となりました。これは、主として繰延税金負債が10億2千2百万円増加したことによります。

この結果、当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて、5.7%減少し362億8千3百万円となりました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、3.4%増加し1,029億4千5百万円となりました。これは主として、利益剰余金が12億5千9百万円、その他有価証券評価差額金が18億1千4百万円それぞれ増加したことによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の業績予想につきましては、2023年5月11日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,844	14,795
受取手形、売掛金及び契約資産	29,290	28,488
電子記録債権	3,826	6,481
有価証券	23,998	18,998
商品及び製品	9,516	10,150
仕掛品	2,602	2,700
原材料及び貯蔵品	3,965	6,196
その他	3,599	987
貸倒引当金	△3	△2
流動資産合計	89,640	88,797
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,721	7,371
機械装置及び運搬具（純額）	11,239	12,536
土地	2,304	2,305
リース資産（純額）	644	620
建設仮勘定	3,730	1,527
その他（純額）	462	439
有形固定資産合計	25,103	24,799
無形固定資産		
のれん	217	203
ソフトウェア	102	100
その他	320	334
無形固定資産合計	639	638
投資その他の資産		
投資有価証券	21,302	23,936
長期貸付金	14	14
繰延税金資産	677	394
その他	657	670
貸倒引当金	△5	△21
投資その他の資産合計	22,645	24,994
固定資産合計	48,389	50,432
資産合計	138,029	139,229

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,397	14,768
短期借入金	7,172	7,172
未払法人税等	3,585	827
賞与引当金	928	462
1年内返済予定の長期借入金	58	59
その他	6,168	5,919
流動負債合計	32,310	29,209
固定負債		
長期借入金	434	417
リース債務	838	811
繰延税金負債	1,709	2,731
退職給付に係る負債	2,826	2,782
資産除去債務	152	152
その他	214	179
固定負債合計	6,175	7,074
負債合計	38,485	36,283
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,871	15,871
資本剰余金	17,009	17,009
利益剰余金	62,741	64,001
自己株式	△3,811	△3,811
株主資本合計	91,812	93,070
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,339	9,153
繰延ヘッジ損益	△101	179
為替換算調整勘定	676	714
退職給付に係る調整累計額	△190	△182
その他の包括利益累計額合計	7,723	9,865
非支配株主持分	8	9
純資産合計	99,543	102,945
負債純資産合計	138,029	139,229

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
売上高	25,738	23,193
売上原価	17,142	16,955
売上総利益	8,596	6,237
販売費及び一般管理費	3,446	3,430
営業利益	5,149	2,807
営業外収益		
受取利息	2	3
受取配当金	308	346
持分法による投資利益	1	1
為替差益	492	297
受取保険金	2	—
その他	64	99
営業外収益合計	871	747
営業外費用		
支払利息	20	28
棚卸資産廃棄損	70	—
その他	9	22
営業外費用合計	99	50
経常利益	5,921	3,504
特別損失		
固定資産除却損	40	40
特別損失合計	40	40
税金等調整前四半期純利益	5,881	3,463
法人税、住民税及び事業税	1,481	695
法人税等調整額	249	365
法人税等合計	1,731	1,060
四半期純利益	4,149	2,402
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,149	2,404

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	4,149	2,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	31	1,814
繰延ヘッジ損益	85	281
為替換算調整勘定	247	36
退職給付に係る調整額	8	7
持分法適用会社に対する持分相当額	13	2
その他の包括利益合計	385	2,142
四半期包括利益	4,535	4,544
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,533	4,545
非支配株主に係る四半期包括利益	1	△1

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	8,420	1,887	1,227	4,686	16,222	—	16,222
中国	7	1,972	349	708	3,038	—	3,038
アジア	1,505	1,468	385	266	3,625	—	3,625
欧州	148	1,346	223	0	1,717	—	1,717
その他地域	179	668	270	16	1,135	—	1,135
顧客との契約 から生じる収益	10,260	7,342	2,456	5,679	25,738	—	25,738
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	10,260	7,342	2,456	5,679	25,738	—	25,738
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	370	1	1,155	1,527	△1,527	—
計	10,260	7,713	2,457	6,834	27,266	△1,527	25,738
セグメント利益	2,159	1,984	1,086	234	5,464	△314	5,149

(注) 1 セグメント利益の調整額△314百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	ヘルスケア	商社部門ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高							
日本	8,759	1,933	1,069	4,675	16,438	—	16,438
中国	—	1,929	204	447	2,581	—	2,581
アジア	185	1,256	194	260	1,896	—	1,896
欧州	100	639	521	66	1,328	—	1,328
その他地域	—	724	219	4	948	—	948
顧客との契約 から生じる収益	9,045	6,483	2,208	5,454	23,193	—	23,193
その他の収益	—	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	9,045	6,483	2,208	5,454	23,193	—	23,193
セグメント間の内部 売上高又は振替高	0	275	1	704	981	△981	—
計	9,045	6,759	2,209	6,159	24,174	△981	23,193
セグメント利益	171	1,128	1,352	443	3,095	△288	2,807

(注) 1 セグメント利益の調整額△288百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

(報告セグメントの区分変更)

当第1四半期会計期間より、従来「機能化学品」セグメントに含まれていたヘルスケア事業は、事業拡大にともない新たなセグメントとして分離・独立させております。また、経営成績の実態をよりの確に把握することを目的として、報告セグメントを従来の「基礎化学品」「機能化学品」「住宅設備ほか」の3区分から「基礎化学品」「機能化学品」「ヘルスケア」「商社部門ほか」の4区分に変更しております。加えて、報告セグメントごとの業績をより適切に評価管理するため、共通費の配賦方法を見直し、報告セグメントの利益又は損失の算定方法の変更を行っております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。